

令和元年第2回定例会

一般質問通告書

流山市議会

令和元年第2回定例会一般質問通告順

日付	順番	議員名	会派名
6月25日	1	渡辺仁二	流政会
	2	大塚洋一	流政会
	3	野田宏規	流政会
	4	森田洋一	市民クラブ
	5	野村誠	公明党
	6	中川弘	自由民主党
6月26日	7	藤井俊行	新生令和
	8	近藤美保	流政会
	9	小田桐仙	日本共産党
	10	高橋光	日本共産党
	11	乾紳一郎	日本共産党
	12	石原修治	流政会
6月27日	13	加藤啓子	自由民主党
	14	大野富生	
	15	西尾段	市民クラブ
	16	戸辺滋	公明党
	17	植田和子	日本共産党
	18	岡明彦	公明党
6月28日	19	斎藤真理	公明党
	20	坂巻儀一	流政会
	21	森亮二	流政会
	22	阿部治正	
	23	楠山栄子	市民クラブ

通告番号1番

質問者1番 渡辺仁二

質問事項	要旨
1 小中学校ICT教育について	(1) 流山市内小中学校のICT教育におけるパソコン、タブレットパソコンの活用状況について問う。 ア 市内小中学校において、児童生徒が教育上利用するパソコン及びタブレットパソコンの配置台数及び今後の配置予定について問う。 イ 向小金小学校、西深井小学校、八木中学校はどのような経緯で流山市のICT拠点校に指定されたのか。また、教育成果の検証について、今後どのように実施するのか問う。 ウ 一部の小中学校では、児童、生徒数の増加が想定されており、ICT教育を行う上で、教職員の多忙化が懸念される。教職員の日々の業務の簡素・効率化に向けた、これまでの取り組みと今後の方向性について問う。 エ 小中学校における教職員の業務効率の向上に向けたAI活用の推進及び児童生徒の使用する教材のAI活用について問う。

通告番号2番

質問者9番 大塚洋一

質問事項	要旨
1 地球温暖化防止対策について	<p>(1) 第3期地球温暖化対策実行計画において、本市が目指す将来像を「低炭素都市ながれやま」の実現を目指すとしている。そこで、以下2点を問う。</p> <p>ア 2016年11月のパリ協定の枠組みを受けて、国は温室効果ガスの排出量を2030年度までに2013年度比26%減にするとしている。一方、市の第3期地球温暖化対策実行計画においては、CO₂（二酸化炭素）の排出量を、2030年度までに2007年度比20%減にする目標を定めており、同じ2030年度までの目標でありながら基準年度が違うことで、国の目指している目標に対し、市の目標は位置づけがわかりにくいと考える。そこで、市の目標も国と同じ2013年度比とすべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 流山市の第3期地球温暖化対策実行計画においての基本方針に、「地域の貴重な財産である「ソフトパワー」を生かし「低炭素都市ながれやま」の実現を目指す」とあることから、家庭部門における省エネ活動の推進については、特に多くの市民に関心を持ってもらえるよう、広報への掲載の増加やチラシの配布、出前講座等の増加により、推進を図るべきと考えるがどうか。</p>

通告番号3番

質問者5番 野田宏規

質問事項	要旨
1 市民の政治参画と選挙業務の効率化について	<p>(1) 平成31年4月7日執行の千葉県議会議員一般選挙（流山市選挙区）および平成31年4月21日執行の流山市長選挙・流山市議会議員一般選挙について、以下のとおり問う。</p> <p>ア 各選挙の投票率と立候補者数について、市はどのように分析しているのか。</p> <p>イ 各選挙の投票率向上に向けて、市はどのような取り組みを実施しており、その効果をどのように分析しているのか。</p> <p>ウ 各選挙の立候補者数増加に向けても、市が積極的に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 各選挙を実施するにあたり、その運営に関する業務の簡素化や効率化が重要と考えることから、以下のとおり問う。</p> <p>ア 市として、選挙に関わる業務の簡素化や効率化について、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>イ 公職選挙法の規定は、コンピュータの活用を前提としない等、現代の社会情勢と乖離している点があり、選挙に関わる業務の簡素化や効率化を阻害している面があると考えるが、市はどのように捉えているのか。</p> <p>ウ 選挙に関わる業務の簡素化や効率化を進めるべく、国に公職選挙法の改正を求めることも必要だと考えるがどうか。</p>

2 第Ⅱ期シティセールスプランについて	<p>(1) 第Ⅱ期シティセールスプランを受けて制定された、ビジュアルアイデンティティガイドラインについて、制定後の反響はどうか。</p> <p>(2) 第Ⅱ期シティセールスプランで示されている「(デジタル) 便利マップ」について、以下のとおり問う。</p> <p>ア 「(デジタル) 便利マップ」作成実現に向けた、現状はどうか。</p> <p>イ 「(デジタル) 便利マップ」作成に際しては、統合型GISを活用してはどうか。</p>
3 バス乗車時における子どもの安心安全について	<p>(1) 未就学児向けバス等の座席におけるシートベルト着用を推進すべきとの立場から、以下のとおり問う。</p> <p>ア 未就学児向けバス等の座席におけるシートベルトはどのような扱いになっているのか。</p> <p>イ 送迎保育ステーションが運営するバスの座席におけるシートベルトの着用を義務化すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 市内の幼稚園等が運営するバスの座席におけるシートベルトの着用を義務化する条例を制定すべきと考えるがどうか。</p>

通告番号4番

質問者16番 森田洋一

質問事項	要旨
1 市長の政治姿勢について問う	(1) 今回の市長の選挙公約の中で、目指すところのひとつとして住み続ける価値の高いまちづくりがあると思う。現在、流山といえば子育て世代を誘致して、人口が増えていく自治体として知名度があがっている。その反面、数十年前に新興住宅地として開発された住宅街は、深刻な空き家問題に直面している。このことからも、数十年後、同様な問題が発生しないためには、将来的にも人口が減りにくいまちづくりが施策の基本となるべきと考えるがどうか。
2 通勤者からみたぐりーんバスの利便性向上について問う	(1) 現在市内6ルートでぐりーんバスが走行している。ぐりーんバスは、通勤に使う、免許返納高齢者の足となる、市内観光の移動手段と様々な側面がある。今回は、通勤者の視点から以下の点について問う。 ア 通勤でバスを利用する場合に重要なことは、通勤時間が短縮できることがあげられる。そのためには、バスの時刻が正確なこと、本数がある程度確保されていることが重要と考えるがどうか。 イ ソフト面のサービスとして、現在、乗り継ぎ券や高齢者割引が実施されている。都内ではすでに定期券や一日乗り放題といったサービスを実施しているが、本市もこれらを検討して収支率を上げていくべきと考えるがどうか。

3 他部署と連携した観光施策の重要性について問う

(1) 本市では、近年、交流人口の増加を目的として、ツーリズム施策に力を入れている。観光施策の実施にあたっては、他部署との連携がより効果的な場合もあると考えられる。そこで、以下の点について問う。

ア グリーンフェスティバルは、流山おおたかの森駅南口都市広場を利用した、環境や自然保護の啓発活動の場として多くの人に認知され、定着してきている。この機会を利用して、スターツおおたかの森ホール内の流山おおたかの森駅前観光情報センターの利用促進、流山本町の歴史的街並みの紹介など、来場者に対して宣伝して、本市の魅力の奥行きを深めていくことが重要と考えるがどうか。

イ ながれやまオープンガーデンも身近な楽しみのひとつとして多くの市民に認知され、近年では、観光バスを利用した団体客も訪れている。各地域のガーデニングを満喫すると同時に、市内を周遊してもらい、観光商品として定番化させて、市内経済の発展に寄与していく仕組みが重要と考えるがどうか。

通告番号5番

質問者10番 野 村 誠

質問事項	要旨
1 交通安全対策について	(1) 園児の移動経路に対する安全対策強化について、国は大津市での保育園児の交通事故を受け、警察と連携して全国の道路の点検を始めた。小中学校の通学路の安全点検の強化に加えて、通学路や保育園の散歩コースになっている交差点の横断歩道に鉄柱ポールを設置するなど安全総点検と安全対策を早急に実施すべきと考える。そこで以下の点について問う。 ア 今回の事故を受け、今年予定している小学校通学路合同点検については、どのような体制で行い、どのような安全対策を検討しているのか。 イ 市内園児が日常的に利用する散歩道の総点検と安全対策について早急に実施すべきと考えるがどうか。
2 健康都市宣言の街にふさわしい施策の推進について	(1) 近年、健康づくりを応援する事業として、埼玉県和光市の「わこう健康マイレージ」や千葉県船橋市の「ふなばし健康ポイント事業」など健康ポイントを取り入れる自治体が増加している。流山市は、健康都市宣言をして12年目を迎える現在、市民にも具体的な数字で還元できる事業として、健康寿命の延伸、健康診断受診率向上、医療費の抑制、地域経済の活性化にもつながる健康づくりの活動をポイント換算する健康マイレージ事業の実施を本市においても検討すべきと考えるがどうか。

3 食品ロス削減について

(1) 食べ物が無駄に捨てられる「食品ロス」を減らすための食品ロス削減推進法が令和元年5月24日の参議院本会議で全会一致により可決、成立した。政府が食品ロス削減の基本方針を策定すると明記され、自治体には具体的な推進計画を作る努力義務を課した。本市においては平成31年3月に策定された、一般廃棄物処理計画の個別計画に位置付けされたが、本市においても食品ロス削減を更に推進するための具体的な取り組みが必要と考える。そこで以下の通り問う。

ア 平成30年第3回定例会の一般質問にて本市において食品ロス削減に関するアンケート調査を行い、市民の意識啓発を図るべきとの質問に対して、田中環境部長より、今後先進自治体を参考に検討を行っていく旨の答弁があつたが、その後どのような検討がなされたのか。

イ 同じく平成30年第3回定例会の一般質問での子ども達に対する食品ロス啓発について、その後の進捗状況について問う。

ウ 本市では外国人観光客の誘致を進めているが、食品ロス削減の観点からも外国人が、色々な味を味わっていただく小盛メニューの提供やお持ち帰り対応など、食べ残しを減らす取り組みを商工会議所と連携し推進はどうか。

エ 野田市は「ごみの出し方表」に食品ロス削減の項目を設け食品ロス削減の啓発を行っているが、本市でも取り入れてはどうか。

通告番号6番

質問者24番 中川 弘

質問事項	要旨
1 安全な自転車交通にかかる諸施策について問う	<p>(1) 自転車は手軽でエコな移動手段として多くの市民に利用されるだけでなく、ツーリングなど趣味としても広く親しまれているのは周知のとおりである。その一方で、これまでの交通弱者としての立場のみならず加害者となる痛ましい事例も多数報道・報告されている。しかしながら、当市における安全な自転車交通実現のための諸施策や事業の進展は遅々として進んでいないのが現状であり、これまでの当局の総合的な取り組みと今後の方針について問う。</p> <p>ア 井崎市政のこの16年間で新たに設置された自転車レーン及び新たに歩道通行可の指定された道路は無い、もしくはほぼ無いのではと思われるが間違いないか。</p> <p>イ 多くの市民から駅前広場や歩道を走行する自転車により身の危険を感じるとの声があるが、その様な声をどのように把握しているか。</p> <p>ウ 他市においては、自転車レーンの整備など歩行者と自転車の安全な通行に対する地道な対応が行われているが、市域の4分の1を再開発して来た流山市において整備が進んでいないのは何故か。</p>

通告番号 7 番

質問者 23 番 藤井俊行

質問事項	要旨
1 市内道路の安全対策について問う	<p>(1) 流山市汚泥再生処理センター付近から江戸川台方向につながる市道269号線は、車両の通行が多いにもかかわらず、ほとんどの区間、歩道の整備はされていない。地元住民からは速度抑制等の安全対策を望む声が強いが、当局の認識と今後の対策について問う。</p> <p>(2) 主要地方道守谷流山線のコマ食堂から神戸ヒルズ前の歩道は、雨が降ると水たまりとなって歩行者が車道に出て通らなければならない現状である。本年4月に市に改善要望をしたが、県土木事務所との協議はどのようになったのか。また、当該歩道は、電柱と民地の花壇で幅員約55センチメートルと狭く、ベビーカーも通れない現状である。どのような改善策を講じるのか当局の見解を問う。</p>
2 市道の道路照明灯の照度対策について問う	<p>(1) 東深井・市野谷2号幹線と常磐自動車道が交差する西初石橋北側に設置されている道路照明灯は、周辺の木々が繁茂していることもあり、とても暗い状態である。早急な改善策を講じていくべきと考えるが当局の見解を問う。</p>
3 流山市総合運動公園に保存している蒸気機関車について	<p>(1) 流山市総合運動公園に保存されているD51型蒸気機関車（通称「デゴイチ」）は、日本で最初に製作された「デゴイチ」として歴史的にも重要なものである。今年度予算で計画されている修繕のスケジュールと修繕内容、また今後どのように公開していくのか当局の見解を問う。</p>

通告番号8番

質問者6番 近藤美保

質問事項	要旨
1 都市化に伴う道路の安全対策について	<p>(1) 園児2人が死亡、1人が重体、保育士を含む13人が重軽傷を負った大津市の事故を受け、流山市でも保護者を中心として散歩道や通学路の安全対策への期待が高まっていいる。これに関連して以下を問う。</p> <p>ア 全国の中でも散歩ルートの確認や見直しの動きが広がる一方、歩行者を守る対策は国の明確な基準ではなく、自治体に委ねられている状況である。公園を屋外遊技場に指定している保育園も増えている中、本市はどのような対策を行っていくのか。</p> <p>イ 通学・通勤時間帯の歩行者、自転車、自動車の交通量が多く、中でも右折車が多い大きな交差点は、児童人口急増の背景もあって大変危険である。事故リスクが高いと推定される箇所については、歩車分離式信号機の導入を要望してはどうか。</p> <p>(2) 歩行者を守るための設備として、景観に配慮されたデザインの設備設置をスムーズに行うための仕組みをつくってはどうか。</p> <p>(3) 人口密度が高まれば、事故リスクも高まることが予想される。平成17年に策定、平成28年に改訂された流山市都市マスターplanにある道路・交通網の整備の目標には、歩行者や自転車、自動車などの全ての利用者が快適に、という記載があるが、今後の将来のありたい姿としては歩行者優先を掲げていくべきではないか。</p>

2 よりよい児童館・児童センターの運営について

- (1) 平成30年10月に改正された児童館ガイドラインを踏まえて以下を問う。
- ア 本市の児童館・児童センターの現状と課題についてどのように整理しているか。
- イ 現在、著しく低い日中の利用状況については、どのような見解を持っているか。
- ウ 中高生の居場所づくりのために開館時間の延長や休日の開館を検討してみてはどうか。
- (2) 今後はどのような委託形式になっていくのか。指定管理であれば特に応募基準や応募者評価、運営評価をしっかりと設計する必要がある。そこで優良な運営を行っている児童館を視察し、運営方針を検討してはどうか。

通告番号9番

質問者26番 小田桐 仙

質問事項	要旨
1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 夫婦の老後資金として公的年金以外に「30年間で約2000万円が必要」とする試算を盛り込んだ金融庁の報告書について、国会内外での真剣な議論をすべきところを、政府は「受け取らない」とし、与党幹部は「報告書はもうない」「選挙を控えているから迷惑を及ぼすことのないようにしっかりと注意しなければいけない」などと報道されており、市民の不安や憂慮は払しょくされていない。また、市年金窓口の業務にも影響しかねない。政治への信頼回復と市民の安心を取り戻すために国会の責任が求められていると思うがどうか。</p> <p>(2) 市長マニフェストについて、「市街化区域内および隣接地借地の公園・緑地を順次買い上げ、緑地の永久保存を進めます」とし、具体的固有名をあげたことで住民トラブルを招く要因の一つになっているとしたら、その課題をどう捉えているのか。</p>
2 社会福祉法人に対する監視や指導について	<p>(1) 市内で保育園を運営する社会福祉法人のうち、平成29年度の法人決算書が未提出であり、かつ市内の保育園から市外の保育園や法人本部に対し、6千万円余の貸付が行われ、年度内返還の規定が順守されていないことが本年第1回定例会で発覚したが、法人による法令順守の取り組みはどうに進んでいるのか、また市として指導・監督にどう取り組んでいるのか。</p> <p>(2) 社会福祉法人に係る法改正の趣旨に基づき指導監査体制の強化・専門性の継続を保障する人員体制が必要と捉えているがどうか。</p>
3 教育行政について	<p>(1) 児童・生徒に対する体罰について、研修の充実及び発生防止に向けた取り組みについて</p> <p>(2) 市内でのいじめについて、平成28年度末に重大事案発生後、いじめ対策調査委員会が発足し、活動してきたが、現状と今後の取り組みについて</p> <p>(3) 返済不要の奨学金の創設や現行制度の拡充について</p> <p>(4) 教師の働き方改革を本格的に進めるためにも配置教職員の増員や市単配置教職員などの増員を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 児童生徒数の推移・想定と学校の規模・配置における課題について</p>

通告番号10番

質問者4番 高橋光

質問事項	要旨
1 交通安全対策について	(1) 通学路など子どものハード及びソフト面の交通安全対策について強化すべきだがどうか。 (2) 超高齢化社会を目前に控えバス交通の充実及び市内公共施設における相談業務などの強化について
2 東部地域のまちづくり	(1) 向小金の住宅展示場跡地利用にともなう国道6号線交差点の安全・渋滞対策について (2) 名都借跨線橋拡幅改良事業及び市道前ヶ崎向小金1号道路拡幅事業に伴う県道旧水戸街道の交通安全や渋滞対策について市はどう捉えているか。
3 国民健康保険について	(1) 「国民健康保険料が高すぎて払いきれない」との声を数多く聞かれるが、その理由を市としてどう捉えているか。 (2) 国民健康保険制度の都道府県単位化にともない、今後、本市の国民健康保険料はどう推移するのか、負担軽減に最大限、市として尽力すべきと考えるがどうか。 (3) 生活苦など困った時に、困った人を助ける制度の改善策について市としての見解を問う。

通告番号 11 番

質問者 27 番 乾

紳一郎

質問事項	要旨
1 市長の政治姿勢を問う	<p>(1) 4月の市長選挙で当選し5期目にのぞむ井崎市長の施政方針について問う。</p> <p>ア 選挙結果をどう受け止めているか。</p> <p>イ 20年間の現総合計画も今年度で終了し次期総合計画がスタートするが、4年の任期中に推進したい重点施策は何か。</p> <p>ウ マニフェストは日本社会の最大課題の一つである貧困・格差問題について触れていないが、どのような基本姿勢で問題解決にのぞんでいくのか。</p> <p>(2) 最新の世論調査で6割が反対し、景気悪化が明らかになっている中で、10月からの消費税増税はやるべきではないと考えるがどうか。また、増税実施による市内経済への影響について市長の見解を問う。</p>
2 次期総合計画について問う	<p>(1) 2015年国連サミットが持続可能な開発目標（SDGs）を採択し、国際社会は今「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、総合的に取り組んでいる。本市の次期総合計画においても、その理念や他自治体の取り組みなどを取り入れていくべきではないか。</p> <p>(2) 次期総合計画に盛り込まれる主要事業について</p> <p>ア 公共施設の新增設と更新について</p> <p>イ 既成市街地のまちづくりについて</p> <p>ウ 医療と介護の連携、地域包括システムの構築など安心して老後を過ごせるための施策について</p>
3 鉄道交通問題について問う	<p>(1) 南流山駅を含むJRの首都圏111駅で早朝無人化がおこなわれていることが明らかとなった。安全とサービスの後退につながり市民生活にも影響を与えると考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(2) 首都圏新都市鉄道株式会社が8両編成化事業の実施を発表し、新たな段階を迎えたつくばエクスプレスの混雑緩和について市長はどのように受けとめ、今後はどういった事を要望していくのか。</p>

通告番号12番

質問者12番 石原修治

質問事項	要旨
1 初石駅施設整備事業について	(1) 初石駅施設整備事業は令和5年度の供用開始を目指し、令和元年度主要事業に組み込まれ、その事業内容は基本調査及び基本設計の実施である。そこで下記2点について聞く。 ア 平成30年第1回定例会の一般質問の答弁で、基本調査の発注については平成31年度当初を予定しているとあったが、いつ発注されたのか。また、基本設計も含め今後のスケジュールはどのように考えているのか。 イ 今後、東武鉄道株式会社と協議するにあたり、主要課題は何だと考えているのか。また、柏市との協議、検討をどのように進めていく予定なのか。
2 流山ぐりーんバス西初石ルートについて	(1) 西初石ルートは平成19年3月1日から運行が開始され、おおたかの森スポーツフィールドから流山おおたかの森駅西口までの区間で、市道102号線を経由し一部民間バスも同ルートを運行している。しかしながら、この路線は初石駅までの歩行距離があることから、初石駅により近い市道277号線にルート変更を検討すべきと考えるがどうか、当局の見解を問う。
3 運転免許証返納をした高齢者への優遇措置について	(1) 近年、高齢者ドライバーによる自動車事故が増えている中で、運転免許証を自主的に返納する人が増えている。65歳以上の運転免許証返納件数は、2008年には全国で約2万8千人だったものが2018年には約34万6千人となり、今後も更に自主返納が増えると考える。流山市はながぽんWAONカードのポイントなどの特典制度があるが、自主返納を促進するための課題と検討すべき対策をどのように考えているのか、当局の見解を問う。
4 流山市総合運動公園の再整備について	(1) 流山市総合運動公園は市民の健康増進と憩いの中心的な役割を担う公園として整備され、流山市の代表的な公園である。平成30年度後半に官民連携による魅力的な公園づくりと題し、流山市総合運動公園サウンディング型市場調査が実施された。では、サウンディング型市場調査から出された提案はどのようなものがあったのか。本年3月に公表した実施結果概要をふまえ、今後の整備計画をどのように進めていくのか、当局の見解を問う。

通告番号13番

質問者17番 加藤啓子

質問事項	要旨
1 流山市内の都市計画道路の事業化及び交差点改良等について	<p>(1) 平成30年第2回定例会において、都市計画道路の整備状況が平成29年度末時点で、61.6%であるとの答弁があったが、平成31年3月末時点での整備率はどのくらいになったか。また、未整備の都市計画道路は次期総合計画の早い段階で整備すべきと思うが、事業化の予定を問う。</p> <p>ア 前ヶ崎411地先の交差点改良については、都市計画道路3・4・10号市野谷向小金新田線との計画とは別に道路線形を検討する旨の回答があったが、3・4・10号市野谷向小金新田線自体の事業計画はどうなっているのか。</p> <p>イ 都市計画道路3・4・9号南流山名都借線の八木南小学校から富士見橋にかけての道路の拡幅については、県の土地地区画整理が終わってからという答弁をいただいているが、道路の完成が近づいている現在において、その事業化はいつごろになるのか。</p> <p>(2) 前ヶ崎411地先の交差点改良については平成29年第4回定例会で陳情が採択され、昨年度事業化して線形検討業務委託を発注し、現地測量ののち改良計画案の作成を進めていると思うが、警察との協議後の概要はどのようにになっているのか。また、陳情者等への説明はどのタイミングでおこなっていくのか。</p> <p>(3) 千葉県道261号松戸柏線の事業化については、昨年第2回定例会においての答弁で、路線としては優先整備区間ではないと答弁があったが、優先整備路線とそうでない路線はどのように決められているのか。また、千葉県柏土木事務所が部分的な歩道整備を計画しており、平成29年度に現地測量が実施されたとの事だが、その内容は確認されたのか。また、流山市としては柏市や千葉県に早期事業化の要望は出したのか。</p>

2 森のまち流山市に相応しい市の花「つつじ」と市の木「つげ」の周知等について

(1) 流山市の鳥がおおたかであることはマンホール蓋のデザインやマンホールカードなどで市をあげてPRしているところであるが、昭和46年に制定された、市の花「つつじ」と市の木「つげ」などは知らない市民も多い。緑被率を増やしていく観点や子育てに優しい街ならではの施策のひとつとして、赤ちゃんの出生届時に「つつじ」の苗をプレゼントし、自宅あるいは実家、植える場所がない場合は市で植える場所を指定してお子さんの名前をつけた札とともに植えていただき、将来にわたって子どもたちが市に愛着を持ってもらえるような事業を展開してはどうか。

(2) 市では生垣の設置に補助金を出しているが、年間の申請件数や生垣の総延長などはどのような状況か。その際、市の花の「つつじ」や市の木「つげ」を生垣として植樹する場合は補助金を1割増しするなどして積極的に緑被率アップを計るとともに、市の花や木を周知する施策をとったらどうか。

通告番号14番

質問者2番 大野富生

質問事項	要旨
1 NHK（日本放送協会）との受信料契約について	(1) 流山市における、公共放送を名乗るNHK（日本放送協会）との受信料契約について以下のとおり問う。 ア 市役所庁舎及び出張所、図書館、博物館等の市所有の施設内に設置されているテレビの設置台数、契約件数及びその内容（地上契約と衛星契約の内訳）、昨年度NHKに対して支払った金額を問う。 イ 市立小学校と中学校内の教室等に設置されているテレビの設置台数、契約件数及びその内容（地上契約と衛星契約の内訳）、昨年度NHKに対して支払った金額を問う。 ウ 市が所有する車（消防、救急車を含む）の中で、ワンセグチューナー付きカーナビの装備されている車の台数、昨年度NHKに対して支払った金額を問う。 エ 市職員に支給している携帯電話の中で、ワンセグチューナー付き携帯電話の台数、昨年度NHKに対して支払った金額を問う。また、携帯電話については、今後も使用する中で故障、破損時にワンセグ機能のない機種に変更する可能性はあるか。
2 市民と動物（猫、犬等）が共生出来る社会について	(1) 飼主と動物だけではなく、飼主の家族や隣人との人間関係も含め、市民と動物が共生出来る社会について以下のとおり問う。 ア 千葉県が掲げている「殺処分ゼロ」に近付くためにも有効かつ重要な対策は、避妊去勢手術と考えるが当局の見解を問う。 イ 人間にとっても動物にとっても厳しい環境に晒される「多頭飼育崩壊」。多頭飼育崩壊を避けるためにも、表面化する前に未然に防ぐため、早期発見が重要だと考えるが当局の見解を問う。

通告番号15番

質問者8番 西 尾 段

質問事項	要旨
1 市内の交通安全について	(1) 全国的に悲惨な交通事故が毎日のように報道されている。流山市内の交通安全対策について問う。 ア 小中学生の通学路の安全点検はどの様に行っているのか。 イ 市のホームページには、「新設小学校に通う際の路線バス利用については、保護者の方の責任を前提として検討を進める」と記載されている。その後の検討の状況はどうか。また、子ども達の通学に路線バスを利用することについては、新設校以外でも検討に値すると考えるがどうか。 ウ 東武アーバンパークラインにおいて、平成31年4月25日に停電による運行見合わせが発生した。朝の7時15分頃に発生したため、通学、通勤に大きな影響があった。閉まつたままの踏切をくぐっていく歩行者や自転車が多く見られ、車の大渋滞が起きていた。今回の事象では、防災行政無線や安心メールなどを使って、アンダーパスや自由通路を通る様に案内する等の対応を取れば混乱を和らげることが出来たと考えるが見解を問う。
2 効率的な選挙執行について	(1) 投票率向上について ア 平成31年4月執行の市長及び市議会議員の各選挙において、投票率向上に対してはどの様な活動を行ったのか。 イ 今後予定されている選挙に対して、投票率向上についてはどの様な活動を行っていくのか。 ウ 平成31年4月執行の、市長及び市議会議員の各選挙において、県議会議員のポスター掲示板を市長選挙に流用するなどの工夫がされた。しかし、市長選挙と同時に開催された市議会議員の選挙については別の掲示板が設置されている。印西市では県議会議員の選挙の時点で市議会議員の掲示板を設置し、その上に重ねて県議会議員の掲示板を貼る事で作業の効率化と市議会議員選挙の早めの告知を行い、投票率の向上を図ったが、市の見解を問う。
3 子ども食堂について	(1) 市内の子ども食堂は令和元年6月に9カ所目がオープンした。全国的には様々な事情により閉鎖する子ども食堂も始めているが、本市では今のところ閉鎖した子ども食堂は無い。今後も持続できる様にするために、子ども食堂に食材を提供する「フードバンク」を市内に開設する計画が進んでいる。フードバンクの活動に対して、京都市の様に市としての支援は考えられないか。

通告番号 16 番

質問者 7 番 戸辺 滋

質問事項	要旨
1 ひきこもり支援策について	<p>(1) 平成30年第3回定例会の市政に関する一般質問において、高年齢化や長期化が懸念されるひきこもりに関する質問を行った。この時の一般質問では、本市におけるひきこもりの実態調査の早期実施や講演会の開催、相談窓口の更なる周知等について当局の見解を求めたが、改めて以下の点について問う。</p> <p>ア 本年3月に初石公民館において、市主催のひきこもりに関する講演会が開催されたが、市としてはこの講演会をどのように評価し、参加者からはどのような声が寄せられたのか。また、この講演会の開催を踏まえ、今後、市としてどのような支援や講演会の充実を図っていくのか。</p> <p>イ ひきこもりに関する専門家の多くは、ひきこもり解消へ向けての大きな一步として、ひきこもり当事者やその家族が孤立することなく、支援機関の相談窓口へ相談することが重要と指摘している。そのことに鑑みると、本市においても相談窓口の更なる周知が必要と考えるが、これまでどのように取り組まれてきたのか。また、今後の周知方法についてはどうのように考えているのか。</p> <p>ウ ひきこもりの長期化を解消するための一つの方策として、平成31年度予算審査特別委員会の質疑の中で、千葉県船橋市の学童保育を運営する、あるNPO団体の取り組みを紹介した。ひきこもり当事者が社会復帰の第一歩を踏み出す上で、孤立を防ぎ、自信を取り戻せるような環境整備が今後、各自治体においても求められるものと考える。本市において、ひきこもり当事者の社会復帰を目指す取り組みを、どのように実施していくのか。</p>

2 子育て世代の増加に伴う読書環境の整備について

(1) 全国的に若年層の読書離れや活字離れが進んでいるとされる中、本市においては平成27年4月におおたかの森こども図書館を開設し、平成29年には流山市子どもの読書活動推進計画を策定する等、幼少期から本に親しむ環境整備に取り組んでいる。今後も、子育て世帯の転入増加が見込まれることから、更なる読書環境の整備は重要な課題であると考える。そこで、以下の点について問う。

ア 幼少期から本に親しむ環境づくりを目指し、市内各図書館で様々な行事が実施されてきたが、その効果をどのように分析しているのか。

イ 本市では、子育て関連施設に対し、乳幼児向けブックセットの設置を推進している。流山市子どもの読書活動推進計画では、平成31年度までに71施設への設置を目指しているが、設置対象施設および設置数はどのようにになっているのか。また、今後も保育施設の増加が見込まれるが、同事業をどのように充実させていくのか。

通告番号 17 番

質問者 14 番 植田和子

質問事項	要旨
1 防災対策の強化について	(1) 政府の地震調査委員会がまとめた「全国地震動予測地図」によれば、今後30年以内に震度6弱以上の地震発生確率が高い地域は千葉県を含む関東地域に集中している。流山市の防災の取り組みをさらに強化する必要があると考えるがどうか。 (2) 被災者支援制度を市段階でも強化する必要性があると言われているが、体制整備やその財源をどうするかが課題となる。国・県への要求を強めるべきだと思うがどうか。 (3) 東海第2原発の再稼働について、流山市は原発事故の被害を受ける当事者という立場に立ち、再稼働は中止すべきだという見解を明確にすべきと考えるがどうか。
2 保育行政について	(1) 認可保育所が足りないという市民の声は全市的に根強くある。流山市の待機児童ゼロを目指す計画を具体的に問う。 (2) 市長は企業内保育所の誘致を推進する方針を明らかにしているが、その計画の内容について問う。また、全国的に企業内保育所の撤退や保育の質が問題になっている事をどう捉えているか。 (3) 幼保無償化をどう評価しているか。また、市及び市民に対してどんな影響を想定しているか。 (4) 給食費の実費負担導入はすべきでないと考えるが、当局の考えはどうか。 (5) 保育士の待遇改善について、市の対策はどうか。
3 社会教育行政と公民館活動の充実について	(1) 第9次地方分権一括法の改正により、公民館などの公立社会教育施設に関して首長権限が拡大されたが、流山市において、これまでと異なる運営を考えているのか。 (2) 公民館使用登録団体に対して、代表だけでなく、全ての会員名、全ての会員の住所・電話番号の提出を要求しているが、その理由と個人情報保護法との関係について問う。

通告番号18番

質問者3番 岡 明彦

質問事項	要旨
1 東部地域の公共交通施策について	(1) 近年、全国各地で高齢ドライバーによる交通事故が多発し、報道等で大きく取り上げられている。これを受け、運転免許証の自主返納を検討しているが、返納後の移動手段の確保が困難であることを理由に自主返納に踏み切れないといった声が、前ヶ崎地域や向小金地域を中心とする東部地域から多く挙がっている。東部地域は今後も高齢化率の進展が著しいことが想定されることから、新たな移動手段の確保が求められているものと捉える。そこで以下の点について問う。 ア 東部地域の公共交通の現状として、ぐりーんバスの導入は大変厳しいとの答弁がこれまで繰り返されているが、これに代わる移動手段の確保について現在、どのような検討を続けているのか。 イ 東部地域における高齢者の孤立化や生活交通の充実を図るため、デマンドタクシー等の導入を早急に検討すべきと考えるが、当局の見解を問う。
2 名都借跨線橋道路拡幅改良事業について	(1) 名都借跨線橋道路拡幅改良事業の工事進捗状況と、今後の見通しについて問う。

通告番号19番

質問者18番 斎藤真理

質問事項	要旨
1 流山市総合運動公園再整備計画について	(1) 流山市総合運動公園再整備計画については、令和4年の整備完成を目指し、サウンディング調査の実施や、大型遊具も設置されるなど、着々と整備が進んでいる。そこで、今後の方向性について、以下の通り問う。 ア S L広場に展示してある「D - 51」「キハ31」の修復計画について イ サウンディング型市場調査実施結果の概要と、今後の方針について ウ 流山市総合運動公園内に、ドッグ・ランの設置を望む声を多く聞く。本市としての見解を問う。 エ 新設駐車場などに、園内の見取り図や案内板の設置をすべきと考えるがどうか。
2 北部地域の課題について	(1) 全国的に高齢者ドライバーによる事故が相次ぐ中で、運転免許証返納推進の世論も拡大しているが、運転に不安を感じていても、運転免許証返納に抵抗感を感じている高齢者も多いことから、高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題である。ぐりーんバス江戸川台西ルート真和田地コースは、平成21年4月から運行を開始されたが、利用客数の低迷から、平成22年10月、約1年半後に廃止された。それから約9年が経過し、利用者の状況は、大きく変化している。地域住民からも、再開を願う声が多いことから、再度実態調査などを実施し、再開を検討すべきと考えるがどうか。
3 利根運河周辺の観光資源としての賑わいの創出について	(1) 利根運河は、美しい景観で市民の憩いの場として親しまれている。この景観と環境を保ちつつ、更なる整備をしていくことは、賑わいの創出と共に、本市のブランド力向上に繋がるものと考え、以下について問う。 ア 利根運河沿いの土地取得が進んでいると仄聞しているが、その土地の活用計画について イ 利根運河沿いの空き家等の活用について

質問事項	要旨
1 市長マニフェストの次期総合計画への反映について	<p>(1) 次期総合計画の策定においては、市長のマニフェストにある7つの基本政策と施策及び市民の声を反映し整合を図していくものと考える。そこで今日までの各議員からの次期総合計画策定に関する質問に対する答弁並びに市長が掲げたマニフェストより具体的に以下について問う。</p> <p>ア 何年にもわたり、幾人もの議員が取り上げてきた地域公共交通の課題は、採算基準により流山ぐりーんバスの運行が不可能な地域においては、喫緊の課題である。代替案をもって早期解決させるべきと考えるが見解を問う。</p> <p>イ 流山スポーツフィールド周辺の植栽や市内各地の道路や歩道への植栽や管理には、これまで議会から多くの指摘があった経緯も踏まえ、今後街路樹整備や市街地の緑を増やす方針や設計には見直しを含め改善策を検討すべきと考えるが見解を問う。</p> <p>ウ 人口増減の地域格差が顕著な本市において、将来人口推計上も北部地域の人口減少予測は大きい。本市が取り組む空き家対策による「住み替え支援事業」の具体策及び成果について問う。</p> <p>エ ALT等を増員して外国語教育の一層の充実を図るための具体的な取り組みとは何か。また英検合格率などの数値目標はあるのかについて問う。</p> <p>(2) 平成30年第4回定例会にて次期総合計画策定においてはSDGsの視点に合致する施策について研究していくとの答弁がなされたが研究されている具体的な内容について問う。</p>

2 新川耕地周辺整備の進捗状況について	<p>(1) 物流施設の一部稼働と更なる施設建設や周辺整備が急ピッチで進められている。それらの影響による環境の変化について以下のとおり問う。</p> <p>ア 市道213号線、通称根方道路及び新川承水路の改修工事の進捗について問う。</p> <p>イ 本年5月21日の雨で、江陽台病院下交差点付近に道路冠水が発生したと仄聞するが、その状況をどう認識しているのか。また、物流施設内の調整池並びに貯留槽の仕様と供用開始予定について問う。</p> <p>ウ 市道207号線、通称白蓮通りは、視認性の悪さや狭隘な歩道のために再整備を求める声が地域住民より上がっているが当局の見解を問う。</p> <p>エ 渋滞悪化が著しい市道118号線の東深井交差点の改良事業費が令和元年度一般会計予算に計上されたが、地元への説明など具体的スケジュールについて問う。</p>
---------------------	---

通告番号21番

質問者22番 森 亮二

質問事項	要旨
1 公共交通機関の機能強化策について	<p>(1) 令和元年5月に首都圏新都市鉄道株式会社より「8両編成化事業」の計画が発表された。そこで以下2点について問う。</p> <p>ア 今回の発表をどのようにみるのか。</p> <p>イ 今回の発表に基づき、今後当市は具体的にどのような取り組みを行うのか。また当市のまちづくりに与えるメリットやデメリットはどのようなものがあると考えるか。</p> <p>(2) 定住人口の増加や新川耕地での新物流施設建設計画の進展に伴い、市内の自動車交通量の増加を懸念する声が多い。それに伴い都市計画道路や（仮称）三郷流山橋の整備を進めているが、本市への入り口の一つでもある常磐自動車道流山インターチェンジ（以下流山I.C）の位置付けについても再考すべきと考える。そこで以下2点について問う。</p> <p>ア 流山I.Cの機能拡充、またはスマートインターチェンジの設置について検討してはどうか。</p> <p>イ 流山I.C周辺整備の一環としてハイウェイオアシスや道の駅といった本市の魅力を高める施設整備を検討してはどうか。</p>
2 本市の人口推計とまちづくりについて	<p>(1) 平成30年3月公表の将来人口推計調査報告書を踏まえ、以下2点について問う。</p>

	<p>ア 人口20万人を抱える都市の姿の一つとして、中核市への移行が考えられる。権限移譲により事務量や行政コストが増えるといった課題もあるが、市内に内在する様々な課題にきめ細かく対応する権限が移譲されるなど当市の自治力を高める好機になるとも考えられる。そこで府内に(仮称) 中核市研究会などを立ち上げ、検討してみてはどうか。</p> <p>イ 北部地域は高齢化が進むことに加え、合計特殊出生率の低下による人口減少の課題が予想される。そこで以下2点について問う。</p> <p>(ア) 運河駅周辺地域のまちづくりについては、どのように考えているのか。</p> <p>(イ) 江戸川台駅周辺地域のまちづくりについては、どのように考えているのか。</p> <p>3 高齢者移動支援バスについて</p> <p>(1) 新川耕地で稼働が始まった新物流施設送迎用バスの運行が開始されているが、北部地域の移動困難地域への対応として高齢者移動支援バスとして協力を求めてはどうか。</p> <p>(2) 駒木地域はぐりーんバスや路線バスの運行がなく、移動が困難との声がある。そこで当該地域にある私立大学のスクールバスを高齢者移動支援バスとして協力を求めてはどうか。</p>
--	---

通告番号 22 番

質問者 19 番 阿部 治正

質問事項	要旨
1 学校における児童への暴力や体罰等について	(1) 日本は、子どもへの「あらゆる形態の身体的若しくは精神的な暴力、傷害若しくは虐待、放置若しくは怠慢な取扱い、不当な取扱い又は搾取（性的虐待を含む。）」から子どもを保護する必要を謳った「児童の権利に関する条約」を批准している。また学校教育法も体罰を厳に禁止している。それにも関わらず、学校において教職員による児童生徒に対する暴力や体罰等がしばしば発生している。そこで、以下の点を問う。 ア 流山市内における教職員による児童生徒への暴力や体罰等の発生件数やその態様について イ その原因や背景について (2) 教職員による暴力や体罰等を生じさせないためにどの様な対策を講じているか。 (3) 不幸にして暴力や体罰等が発生してしまった場合、どの様な対策が講じられているか。 ア 加害者等に対する対策について イ 被害者等に対する対策について
2 いわゆる「8050」問題や「引きこもり」問題に対する流山市の対応について	(1) その人が就職などで社会に出る時期と「就職氷河期」とが重なってしまった世代の人たちやその家族等が陥っている、長期失業、経済的困窮、社会的孤立、心身の疾病等の、いわゆる「8050問題」が社会の関心を集めている。内閣府の発表では40歳から64歳で「引きこもり」とされる人は推計で61万3,000人に上り、15歳から39歳の人の推計54万1,000人より多いことが明らかとなった。この問題に対しては、何よりも当事者とその家族のニーズが重視され、それに応える施策が強く求められている。そこで以下の点を問う。

	<p>ア 「8050」問題や「引きこもり」問題を生じさせた社会的背景や要因について</p> <p>イ 「引きこもり」等の当事者や家族に対して、社会的偏見や差別を生じさせないための配慮や施策について</p> <p>ウ 当事者や家族に寄り添い、そのニーズに的確に応えるための、具体的な施策について</p> <p>(1) 「認知症予防」という言葉や考え方について、かねてより介護従事者や市民から疑問の声が上げられていた。政府もここに来て、予定している認知症対策の新しい大綱に「認知症予防」の数値目標を盛り込むことを断念した。認知症は予防可能だという考えには明確な根拠がないという専門家の見解が示されていること、また認知症の人に対する「予防の努力をしなかった人」という社会の誤解や偏見が生じかねない等というのがその理由となっている。そこで以下の点を問う。</p> <p>ア 「認知症予防」という言葉や考え方に対する流山市の理解について</p> <p>イ 流山市において「認知症予防」を謳った施策、事業、催しについて</p> <p>ウ 今後の市の対応について</p>
--	--

通告番号23番

質問者21番 楠山栄子

質問事項	要旨
1 当市の緑地確保の対策について	(1) 当市には、昭和の時代に形成された、かつての新興住宅地が数多くあり、住宅地としてのクオリティの評価も高い。一方で、地権者の方々の高齢化により、相続等の理由で土地を手放し、緑が消滅するケースが増えていくと考える。住宅地のクオリティという点から、緑地確保は必須であり、当市の住宅地のクオリティを維持するためにも、緑地確保の対策が必要だと認識するが、当局の見解を問う。
2 2025年に向けた当市の在宅医療・介護体制について	(1) 入院日数が短期化する中で、退院後の在宅療養の環境を不安に感じる方々が多く、市町村での在宅医療・介護支援体制の整備が求められている。 ア 過去の質問において、当市は「在宅医療介護連携拠点事業」の中で、東京理科大学と共同調査で、2025年に向けた医療従事者の目標数を算出しているとの答弁があった。平成30年度末に出た共同調査の結果について、予測どおりだったのか、あるいは大きく違ったのか、違った場合、その理由は何か。 イ 共同調査の結果は、今後、具体的に実現していく必要があると思うが、2025年問題に向けて、どのように実現していくのか。 ウ 医療に関する情報提供が少ないという声が市民から聞こえるが、地域資源マップによる地域の医療・介護資源の見える化は進捗しているのか。また、おうち療養情報紙による周知は十分か。 エ 市役所で、医療について相談したくとも、どの担当窓口に行けばいいのかわからないという声を聞くが、一元化された総合医療相談窓口の設置の可能性はないか。 オ 当市では、24時間対応定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスが平成28年11月末で一度廃止となり、平成29年度、平成30年度に再スタートしている。現状と課題について問う。

